

## 中 1 ギャップ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため随分遅れてしまいましたが、各中学校には真新しい制服を着た新入生が入学しました。どの子も期待に胸をふくらませていることでしょう。すべての生徒が中学校生活を満喫し、意欲的に授業や活動に取り組み、心身ともに大きく成長していくことを願っています。

しかしながら、生徒の中には新しい中学校での生活に適応できず、欠席しがちになったり、友達がつくれず思い悩む者もいます。児童生徒の問題行動に関する調査によれば、いじめの認知件数は中学では1年生が最も多く、また不登校の児童生徒数も中学に入ると急増します。

こうした問題は一般に「中1ギャップ」と呼ばれています。小学校から中学校へと環境が大きく変わることで、様々な不適応の問題が生じることを指すもので、その克服のために小学校と中学校が連携を図り、生徒が滑らかに移行できるように努めることが求められています。

中学校段階は小学校段階と比べ心身の発達上の変化が著しく、また、生徒の能力・適性、興味・関心等の多様化が一層進展するとともに、内面的な成熟へと進み、性的にも成熟し、知的な面では抽象的、論理的思考が発達するとともに社会性なども発達してくる。また、年齢的には12歳から15歳までという、成長が著しい時期に当たるので、学年による生徒の発達の段階の差異にも留意しなければならない。(中略)

一方、特に小学校の高学年からは、個々の児童生徒の発達の個人差も目立つ時期であり、また、中学校段階は、自我意識が高まるとともに個性が多様化してくる時期である。

教育課程の編成に当たっては、こうした発達の段階に応じた課題を踏まえつつ、生徒一人一人の多様な能力・適性、興味・関心、性格等を的確に捉え、生徒一人一人の発達を支援していくことが重要である。(「中学校学習指導要領解説・総則」第3章「教育課程の編成及び実施」)



幸運は準備のない者にはほほ笑まない。  
(ルイ・パスツール フランスの細菌学者)

◎次の問題(一般教養・社会)にチャレンジしてみよう。(東京アカデミー、一般教養問題集、2021年度版)問. 労働に関する次の文の空欄に当てはまる語句を入れよ。

- (1) 労働三権とは、団結権、団体交渉権、( A )権のことをいう。
- (2) 労働三法とは( B )法、労働組合法、労働関係調整法のことをいう。
- (3) 職場での男女平等を目指し1985年に制定された( C )法は、1997年に改正され、募集・採用、配置・昇進にあたっての男女差別について、従来の努力義務から禁止規定に改められた。

(正解は末尾にあります。)

◆ 本講座オリジナル模擬試験 (本講座の講師による予想問題です。無料です)

実施日時：2020年6月29日(月)(19:00-21:00)

場 所：北部生涯学習推進センター

答 A：団体行動(争議) B：労働基準 C：男女雇用機会均等